

恐れていた事態がついに噴

出したか、の感が深い。北京

の日本大使館と上海の日本総領事館

が、暴徒によって

投石の威嚇を受け

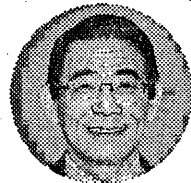
た。反日デモは、沿海諸都市から東北部、さらには内陸部へと波及する可能性が高い。

投石する暴徒に公安当局が威圧を加えている様子は無い。威圧がなかったといふことは、党による許容黙認があったと判断していいだろう。

実際、17日の日中外相会談において、李肇星外相は自国の責任を認めず、中国人民の心を傷つけた日本政府に問題ありとする対応に終始した。

強硬外交により、日本の譲歩を引き出す手段として、反日運動を利用しようとする意図

論点



お夫 とし 利
わたなべ 渡
拓殖大学学長

を喚り立ててきた。

権威と人脈において鄧小平氏に劣る江沢民氏が企図した

政権基盤強化策にほかならない。反日が中国人の草の根に

まで深く及んだことを、今回の事件は如実に示した。

問われるべきは、反日運動

商界に達していた。

反日は不満層の鬱積の吐け口である。抗日戦争勝利こそ

共産党支配の正統性を世に訴える最も重要な根拠であり、

愛国は反日と同義である。「愛国無罪」をスローガンに掲げる人々を抑圧することは、党

政治関係が冷え込む一方

日カードが切られることはなかった。だが、市場経済の敗者の鬱積によってわき起る

反日の矢が、脆弱な政権基盤の現政府の方に向きを変え

るといふ危険性は排除できない。

政治関係が冷え込む一方

してほしい。

「社会主義市場経済」の矛盾のツケは、誰が払うことになるのだろうか。中国は今や

世界経済の牽引役ともなっている。今回の事態を中国がどのように収拾するかは、中国

が真に市場化を志向しているか否かの試金石である。

日中韓を中心に語られる「東アジア共同体」構想は、

おそろしく幻であろう。共同体と銘打つ以上、政治体制や安

全保障の枠組み、価値観や社会理念を多国籍間で共有化する

ための道程が、多少とも明るい展望をもって描かれねばならない。今回の反日暴動と中

国政府の対応は、二つの大國が同じ「共同体」の中に住ま

うことの難しさを、劇的な形で物語ったものといえよう。

◇ 専門は開発経済学。65歳。

「反日」拡大の意味

中国「市場化」の矛盾表面化

が透けてみえる。

現在に至る反日運動の起

は、1994年の江沢民政権

による「愛国主義教育綱要」

の発表にあった。愛国主義の

雰囲気醸成するため、反日

教育を徹底させ、盧溝橋近く

にある「抗日戦争記念館」の

よつな「愛国主義教育基地」

を主土に建設して、日本憎悪

が顕在化した要因である。92

年から加速した中国の市場経

済化は、勝者を生み出す一方、

膨大な数の敗者を群生させ

た。都市就業者2億4000

万人のうち、失業者は300

0万人と推計され、内陸部農

村から沿海部都市に向けて流

動する1億人超がこれに加わ

る。社会的不満層の鬱積は、

の正統性の否定につながるか

ねない。

反日の政治的利用は、現在

の中国政府の脆弱性を示す

ものであろう。市場経済化の

過程で流動する中国におい

て、求心力を回復するのに、

反日愛国主義は格好のテーマ

である。対照的に、権力基盤

の強い鄧小平の時代には、反

で、日本の対中貿易が拡大し、

日本企業の中進出も大きく

伸びている。「政治経熱」と

いわれるが、これが「政治経

熱」に転じないとは言えない。

中国での日系企業の事業展開

が、政治と無関係であるはず

はない。今回の反日暴動を、

中国の「政治リスク」をしか

るべく評価するための教訓と